

第43回 萩原朔太郎忌

いまこそ、朔太郎

2015年5月10日(日)
13:00～17:00 (開場 12:00)
前橋市民文化会館大ホール
定員 1200人(入場無料)



三浦雅士



蜂飼耳



谷川俊太郎

講演 蜂飼耳(詩人)

「朔太郎の詩と情熱」

対話 谷川俊太郎(詩人)×聞き手 三浦雅士(文芸評論家)

「いまこそ、朔太郎」

演奏 群馬県立前橋高等学校ギター・マンドリン部

合唱 前橋文学館友の会・楽しく歌う会

朔太郎詩朗読 10代、20代の人たち(詳細は裏面)

主催 萩原朔太郎研究会／水と緑と詩のまち前橋文学館

協賛 群馬詩人クラブ／群馬ペンクラブ／前橋観光コンベンション協会／前橋文学館友の会

後援 朝日新聞前橋総局／NHK前橋放送局／エフエム群馬／群馬テレビ／

産経新聞前橋支局／上毛新聞社／東京新聞前橋支局／毎日新聞前橋支局／

まえばし CITY エフエム／読売新聞前橋支局

問い合わせ先 萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち **前橋文学館**

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10

TEL. 027-235-8011 FAX. 027-235-8512

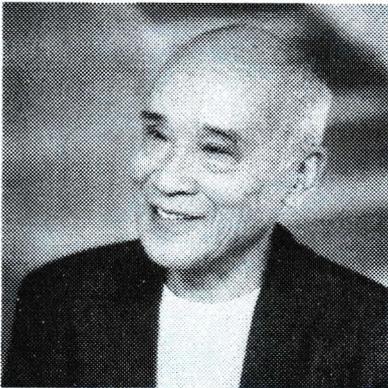
<http://www15.wind.ne.jp/~mae-bun/>



蜂飼 耳(はちかい みみ)

1974年、神奈川県生まれ。詩人・作家。

2000年、第一詩集『いまにもうるおっていく陣地』で第5回中原中也賞、2006年『食うものは食われる夜』で第56回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。神奈川文化賞未来賞受賞。他の詩集に『隠す葉』(2007)、『現代詩文庫・蜂飼耳詩集』(2013)。小説に『紅水晶』(2007)、『転身』(2008)、エッセイ集に『孔雀の羽の目がみてる』(2004)、『空を引き寄せる石』(2007)、『秘密のおこない』(2008)、『空席日誌』(2013)、『おいしそうな草』(2014)など。童話に『のろのろひつじとせかせかひつじ』(2009)など。2012年、絵本『うきわねこ』(絵/牧野千穂)で、第59回産経児童出版文化賞ニッポン放送賞受賞。その他、翻訳絵本や平成27年度版小学校国語教科書の物語文(「なまえつけてよ」・光村図書)の執筆なども手がけている。



谷川 俊太郎(たにかわ しゅんたろう)

1931年、東京都生まれ。詩人。

1952年第一詩集『二十億光年の孤独』刊行。1982年『日々の地図』で第34回読売文学賞、1985年『よしなした』で第3回現代詩花椿賞、1992年『女に』で第1回丸山豊記念現代詩賞、1993年『世間知らず』で第1回萩原朔太郎賞、2008年『私』で第23回詩歌文学館賞、2010年『トロムソコラージュ』で第1回鮎川信夫賞受賞。『21』(1964)、『旅』(1968)、『定義』(1975)、『コココーラ・レッスン』(1980)、『minimal』(2002)など多くの詩集を刊行。『ことばあそびうた』(1973)、『わらべうた』(1982-83)などの子ども向けの詩のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞ほか、幅広い作品を発表。作曲家でピアニストの長男・谷川賢作と、朗読と音楽のコンサートを開催するほか、近年では、詩を釣るiPhoneアプリ『谷川』や、郵便で詩を送るポエメールなど、詩の可能性を広げる新たな試みに挑戦している。



三浦 雅士(みうら まさし)

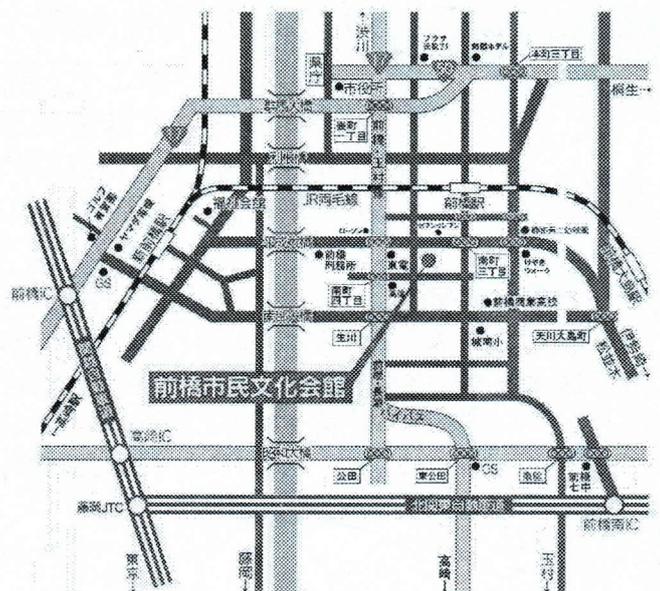
1946年青森県生まれ。文芸評論家。萩原朔太郎研究会会長。

1972年から「ユリイカ」編集長。1976年「現代思想」編集長。1981年より執筆活動に転じ、文学、思想、舞台芸術など幅広い分野で評論活動を行う。1984年から86年にかけてコロンビア大学客員研究員。1991年新書館編集主幹に就任、舞踊誌「月刊ダンスマガジン」、思想誌「大航海」などを創刊。1984年『メランコリーの水脈』でサントリー学芸賞、1992年『小説という植民地』で藤村記念歷程賞、1996年『身体の零度』で読売文学賞、2001年『青春の終焉』で伊藤整文学賞を受賞。2012年『出生の秘密』『漱石——母に愛されなかった子』『人生という作品』などの批評の業績により芸術院恩賜賞を受賞、芸術院会員。ほかに『私という現象』(1961)、『バレエ入門』(2000)、『考える身体』(1999)、『人生という作品』(2010)など著書多数。

*朔太郎詩朗読 10代、20代の人たちを大募集!

今年の朔太郎忌では、下記のとおり、萩原朔太郎の詩を朗読する若いみなさんを大募集します。朗読は、一人でも複数でも構いません。ぜひ応募してください。

1. 内容 ご自身で選んだ朔太郎の詩を朗読していただきます。朗読は、個人でも複数でもかまいません。
2. 募集 10代、20代の人 2人(2組)
3. 申込み 平成27年4月21日(火)までに前橋文学館へ電話連絡。
応募者多数の場合は抽選とします。



※JR 両毛線・前橋駅南口から徒歩5分。
※お車の方は、当日は詰め込み駐車となる予定です。